

# Just Now

## ここが違う！

### 小学校の「英語活動」と 中学校の「英語科」

直山木綿子 Naoyama Yuko  
(京都市総合教育センター)

#### 1. はじめに

小学校の「英語活動」は、試行の段階から、系統的・計画的に実践を積み上げる段階に入ってきたといえます。それに伴いますます小学校での英語活動が、中学校での英語教育にどのように結びついていくのかという、小中の連携が課題となってきました。小中の連携を図るためには、まず、小学校の教員と中学校の英語科担当教員が互いにどのような内容をどのような方法で指導しているのかを知り合うことが大切です。そこで、小学校では実際にどのように英語活動が進められているのかをご紹介します。

#### 2. 小学校での英語活動のねらい

中学校の英語教育のねらいは、学習指導要領（外国語編）によると、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」ことです。すなわち、「聞く・話す・読む・書く」の4技能にわたって、文法規則や語彙について学習したことを生かし、場面に応じて、実際に英語を使える能力の育成がねらいとなります。

一方、小学校の英語活動は、「小学校英語活動実践の手引」（平成13年文部科学省：以下「手引」）にも書かれているように、言語習得を主な目的とするのではなく、「英語に対する興味・関心と、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ことをねらいとしています。ですから、小学校では、中学校で学習することをそのまま前倒しで学習するものではありません。

では、このねらいを達成するためには、小学校の英語活動では、どのようなことを、どのような方法で進めるのでしょうか。

#### 3. 小学校での英語活動の内容と方法

ご承知の通り、コミュニケーション能力はコミュニケーションを通して獲得されます。ですから、小学校での英語活動のねらいを達成するためには、やはり、英語によるコミュニケーションを児童に体験させることが必要となります。「手引」によると、「子どもの言いたいこと、したいこと、日常生活に身近な事柄」を題材に活動が組み立てられ、「音声中心に、逐一日本語に訳したり、無理に覚えたり、細かい誤りを気にしたりせずに」、活動が進められます。

例えば、中学校英語の学習内容は、be動詞および一般動詞の肯定文、疑問文・応答、否定文、疑問詞付き疑問文、三人称単数現在形のように、文構造によって学習内容の順が決まってきます。ところが、小学校では、文構造によるのではなく、子どもが言いたいこと、興味のあることが中心となって、学習内容の配列が決められていきます。

学習の方法については、指導者とも大きく関わってきます。「総合的な学習の時間」における取組みですから、「地域や学校、児童の実態」に応じて、「児童の興味・関心等に基づく学習」を創意工夫することが求められ、児童のことをよく理解している学級担任が中心になって英語活動を進めることとなります。ただ、「手引」でも「基本的には学級担任が行う」としていますが、英語活動を進める際、「英語に直接触れたり、外国の生活・文化に慣れ親しむという趣旨から、外国語指導助手の活用や多様な授業展開

を可能にする協同授業などの授業形態の工夫も必要」としています。このことから、多くの学校では、児童に英語でのコミュニケーションを体験させ、英語を積極的に使う動機付けをするために、学級担任と外国語指導助手とのチームティーチングをしたり、ネイティブのゲストティーチャーを招いたりして、英語活動を進めています。

#### 4. 京都市における小学校英語活動の取組み

以上のことを踏まえ、京都市でも小学校における英語活動に取り組んでいます。まず、京都市における小学校英語活動の取組みは、平成6年度より、京都市立永松記念教育センター（平成15年度より「京都市総合教育センター」に改名）研究課において始まりました。指導計画の作成と教材の開発、学級担任と外国語指導助手とのチームティーチングの在り方などについて研究を進め、その成果は、毎年センターから発行される「研究紀要」にまとめられています。そして、平成14年度には、小学校の先生たちで組織された小学校英語活動実践グループ研究会の協力を得て、「小学校英語活動 指導計画と活動事例集（試案）」が作成されました。これは、第3学年から第6学年までの4学年分、各学年8～10ユニット、1ユニット3～7時間で構成されています。また、各校でこの試案を使って実践を行う

時	学習内容	活動
1	I like ~ . <u>Do you like</u> ~? Yes / No. <u>What</u> ~ do you like?	・カルタ取り ・はえたたきゲーム ・What color do you like?
2	<u>What do you want</u> ? ~ , please. Thank you. You're welcome. <u>Are you sure</u> ? <u>Is this right</u> ? <u>Sure</u> . Yes / No. <u>Here you are</u> .	・色板当て ・色と形のビンゴゲーム
3	<u>What / How many</u> ~ do you want? ~, please. Here you are. Thank you. You're welcome. <u>What kind of face is this</u> ? <u>Is this</u> ~? Yes. / No.	・色板で顔作り ・どんな顔に見えるかな?
4	<u>What do you want</u> ? <u>I want</u> ~ , please. Thank you. You're welcome. <u>What kind of face is this</u> ? <u>Is this</u> ~? Yes / No. Here you are. ~ , please.	・歌：“Head, Shoulders and Knees” ・福笑い（全体）
5	What ~ do you want? ~ , please. Here you are. Thank you. You're welcome. <u>What kind of face is this</u> ? <u>Is this</u> ~? Yes / No. Right. Up. Stop. More. ~, please. <u>Be quiet</u> .	・歌：“Head, Shoulders and Knees” ・福笑い（ペア）

際に必要な教材も各ユニットごとに作成され、平成14年より各校への貸出しも行われています。

下に示すのは、試案を使った具体的な第3学年対象の実践例です。

#### 5. おわりに

小学校における英語活動は、教科書も、カリキュラムもない中、外国語指導助手に任せきりから、少しずつ、学級担任が中心になって工夫し、進めるものが増えてきています。小学校の教員は、その養成課程で英語指導の専門的な教育を受けていないことや、英語を教える専門的な知識やその指導法も身に付けたりする機会がなかったことから、小学校での英語活動に対する不安の声を耳にすることもあります。しかし、「英語が苦手だからこそ、子どもと一緒に英語を勉強します」と、英語活動に熱心に取り組んでおられる先生が増えてきています。そのような先生が進められる英語活動では、「覚えなければ！練習しなければ！」というスタイルではなく、「何かしているうちに、自然に英単語が口から出てくる」というスタイルで、子どもたちが英語を聞いたり、話したりすることを楽しんでいます。

そのような子どもたちの姿を、校区内の小学校に是非見に行っていただくことが、小学校の英語活動がうまく中学校の英語教育に結びつく第一歩だと思います。



外国語指導助手が児童の指示で福笑いをしている様子



ペアで助け合いながら福笑いで作った顔を紹介している様子